

令和 5 年度宣誓式

9月30日(土)、爽やかな秋晴れの中、令和5年度宣誓式が本校講堂において挙行されました。式典はここ数年と同様に新型コロナウイルス感染症拡大防止のため宣誓生および教職員のみで執り行いました。しかしながら今年度は別室で中継をご覧いただく形ではありましたが保護者をお招きすることができました。

近年、臨床現場でナースキャップ廃止が進んでいる等の状況を踏まえ、昨年度までの戴帽式からプロジェクト学習を用いた学生主体の宣誓式としました。

8回生73名は1年生の冬から、どのような宣誓式にしたいかを考え、係に分かれて準備を進めてきました。当日、自分たちで選んだ青い3輪の花のコサージュを胸に付けた学生は、誇らしげな顔で式に臨んでいました。

キャンドルサービスでナイチンゲール像が持つ親灯から灯火を受け取り、全員のキャンドルが灯ると、学生代表の2名が、献身の精神を継承する意味をかみしめながら宣誓しました。

宣誓文は、ナイチンゲール誓詞を参考にし、各々が目標とする看護師像を書き表したのから抽出した、愛・信頼・協調性・個性・コミュニケーション・責任の6つのキーワードを中心にして作成したものです。

ー私たちは、ここにいる人達の前で誓います

私たちは、愛し愛され、信頼される看護師になるために努力し続けます

私たちは、親密なコミュニケーションにより個性を理解し、良好な関係の構築に努めます

私たちは、すべての業務に責任をもち、適切な判断により看護を行います

私たちは、協調性を育み、医療チームとして一貫した看護を行います

私たちは、人々の幸せのために、全力を尽くしますー

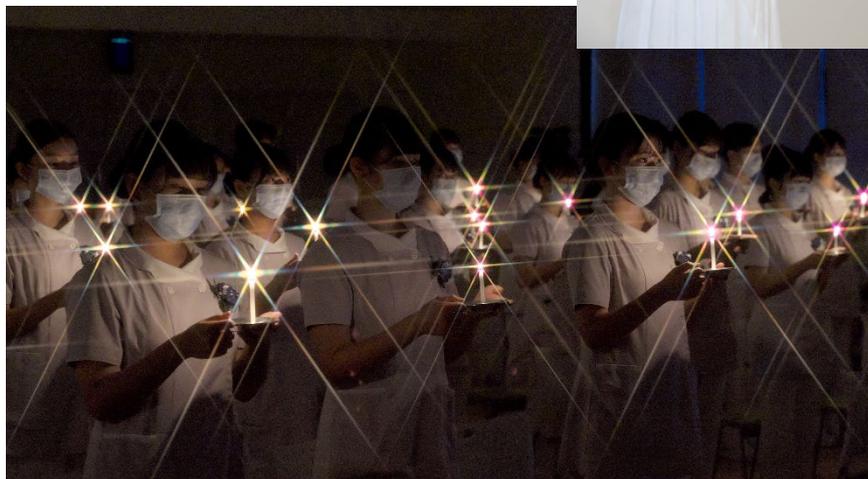
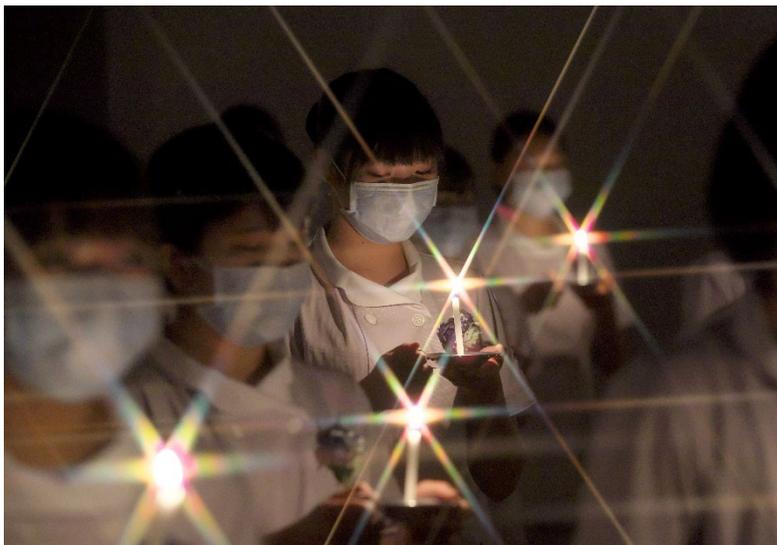
お祝いの言葉として教員から、1年生から授業や実習を通して感じた成長や「多くの経験と実践を重ねていくことで、看護の知つまり臨床の知が生まれます。理想とする看護師を目指し今後も研鑽し続けてください」との言葉が贈られました。

小林佳志子学校長の式辞では、ナイチンゲールの言葉を引用し、みなさんも患者さんに対する献身的な姿勢とともに科学的な物の見方をし、自分の心で感じ、思考する看護師になってくださいと激励されました。

宣誓式を終えた学生の表情はより引き締まり、心新たに看護師を目指すという強い覚悟を感じました。

後日、宣誓式プロジェクトの振り返りを行った2年生が、1年生へ対し宣誓式についてプレゼンテーションを行いました。発表では、「何か物事を行う時に声を上げた人を中心に1つの集団として活動することが重要であると感じた。それに対し、無関心や非協力的だと成果を上げることはできない。自分も集団の一人であることを自覚し、自ら声を上げることや他人に興味を持ち協力していくことの大事さを学んだ」「ゼロからイチを創ることの難しさと苦労はあったが、そのプロセスを通じ成長を感じられ、宣誓式を終えた今とても達成感がある。今何をすべきかを考え自分主体で行動してほしい」などの言葉を1年生は真剣に聞き、2年生へ盛大な拍手を送りました。

この度のプロジェクト学習を用いた宣誓式により、主体的学習能力とチームで新たな価値を創造する力が育まれていることが伝わりました。今後の益々の成長と活躍を期待したいと思います。



看護研究発表会を行いました

9月6日（水）、3年次開設科目「看護研究」にて看護研究発表会を校内4つの会場に分け行いました。

夏季休業中も担当教員から対面、メール、ZOOM等での指導を受けながらまとめた研究は83編です。83編はすべて事例検討で、内容としては看護実践の効果をまとめたものが最も多く、他に患者理解、患者とその家族との関係形成などといったものでした。どれも臨地実習で受け持った対象者にしっかり向き合い、その中で一人ひとりの学生が戸惑いや悩みを感じながらつかみ取った実践知が導き出されていました。

「学問としての看護学は、まだその歴史は浅く発展途上にある。わかっていることよりもわからないことが多い」と言われているように、臨床には疑問がいっぱいです。看護研究は、その日常の中で感じた「どうして?」「おかしいぞ?」というささいな疑問や問いをそのままにせず解決するための手法として学びます。学生にとって、講義で看護研究を学ぶ意義を教えられ、その大切さを頭では理解していても実際にまとめて、多くの人の前で発表することは大変なことであったと思います。しかし、A4用紙4枚という少ない枚数ではありますが自分の行った看護を振り返り、まとめることができたという経験は、これから看護師として歩いていく力になってくれるのではないかと思います。

また、今回の研究発表会には2年生も参加しました。先輩たちの発表を聞いた学生は「実習で同じようなケースを受け持つ機会があったら、今日の発表を参考にケアを提供してみたい」「自分は一年後、あんなふうに発表できるかわからない」「先輩はすごい」などの感想が聞かれ、後輩たちにも刺激となる発表会になりました。

最後になりましたが、実習にご協力頂きました施設の皆様とご指導下さいましたスタッフの皆様、実習で快くご協力下さいました対象者の皆様をはじめ多くの皆様に深く感謝申し上げます。

